

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
白井会長	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>「地域包括支援センターの運営状況について」「地域密着型サービス事業者の運営状況等について」「地域密着型サービス事業者の選定について」を議題とする。事務局から説明をお願いする。</p>
今村主査	<p>資料 1 - 1 地域包括支援センターの運営状況について</p> <p>資料 1 - 2 日常生活圏域別人口等</p> <p>資料 1 - 3 - ①令和 3 年度の入間市地域包括支援センター活動状況報告書（包括別累計）</p> <p>資料 1 - 3 - ②令和 2 年度の入間市地域包括支援センター活動状況報告書（包括別累計）</p> <p>資料 1 - 4 令和 3 年度 入間市の一般介護予防事業の取り組みについて</p> <p>資料 1 - 5 生活支援体制整備事業について</p>
中野主査	<p>資料 2 地域密着型サービス事業所の運営状況等について</p> <p>資料 3 市内地域密着型サービスの指定状況</p>
井ヶ田主幹	<p>資料 4 令和 4 年度地域密着型サービス事業者の選定についてを用いて説明。</p>
白井会長	<p>事務局から説明があった。各委員のご意見をいただきたい。</p>
米内山委員	<p>一般介護予防について、新型コロナウイルスの影響により、令和 3 年 4 月から 9 月、令和 4 年 1 月から 3 月が中止となっているため、令和 3 年 10 月～12 月は対面において行えたもので、それ以外の期間は、資料郵送等の方法により取り組んでいたということでよいか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
今村主査	<p>新型コロナウイルスにより影響のあった期間について、資料郵送の方法により取り組み、それ以外の期間については対面により行った。</p>
内田委員	<p>資料1-1を見ると東藤沢地域においてのみ、介護認定率が高くなっているがその原因は何か。</p> <p>資料1-3-①を見ると、昨年度と比較し相談件数が増えているがどのように考えているか。</p> <p>虐待件数は令和2年度の112件から減っているということだが、虐待相談件数は増えている。市として対策や考えはあるか。</p>
富田主幹	<p>東藤沢地域においてのみ介護認定率が高くなっている理由としては、高齢化率が高い地域性というものがあると考えられる。</p>
白井会長	<p>東藤沢は、3,000世帯ある。高齢者世帯独居数については約3人に1人。高齢率も高く入間市内で一位だったこともある。高齢者が一人での生活が難しい。足が悪い。外に出られないこともある。認定率の高さの原因には、高齢化率が高いという理由もあるし、高齢者の一人暮らしが多いということもある。様々な要素が重なり認定率が高くなっていると思われる。</p>
富田主幹	<p>相談件数の増加については、コロナ禍で閉じこもりになっている人が多いことも原因となっていると思われる。虐待に対する相談には包括等と連携しながら対応を行っている。</p>
内田委員	<p>権利擁護の虐待件数は減っているが、相談件数が増えているということは、権利擁護までいかずに対処できているということか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
白井会長	<p>虐待には高齢者の虐待もあるし、児童への虐待もある。高齢者の場合、家族と同居している場合に、どうしても少し話が大きくなる傾向もある。生活スタイル等様々なことがあるが、虐待といっても範囲は広く、難しく、捉えきれていないところもある。地域をまわり情報を得るようにはしている。</p>
内田委員	<p>地域密着型サービス事業者について、募集が4施設ある中で、応募が1事業者だがどのように考えているか。昨年度は株式会社あいではない業者が選ばれていたが選定の評価及び指標に関して、問題はないのか。去年と同じ結果で選定されたのはなぜか。</p>
富田主幹	<p>定期巡回・夜間対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護について募集はしているが、集まらない。事業として展開していくことが、事業者側で難しい点があるのかなと思う。高齢化率が高くなっている中で、このような事業所を整備していくことが求められると思う。入間市第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の中でも定められている。このようなことも含め、工夫しながら、大きな施設設置するときには、このような施設も含めるということを検討しなければいけないと個人的には考える。</p> <p>昨年度、入間市として整備していく中で、9つある圏域の中で地域に偏らないことを希望していた。昨年度の事業者は、豊岡西地域に整備することで評価が高くなった。同じような評価指標で選定委員に評価してもらっている。昨年度、株式会社あいは次点ではあったが、評価自体は高く惜しくも漏れてしまった。評価方法には問題なかったと考えている。一つの地域に施設が集中してしまうことは望んではないが、高齢化が進む中で、施設の整備を進めていく中で一事業者のみだったため選定されている。</p>

発 言 者	発 言 内 容
白井会長	<p>民生委員の他に地域ボランティア組織を立上げ、一人暮らしの人に支援を行っている。一人暮らしの難病を持っている75歳男性の事例だが、今年になってから夜に倒れたことがある。リハビリの担当者がたまたま次の日に来て、対応し、一命を取りとめたことがある。次の日に来ていなければ命を落としていた可能性がある。家族はいるが住んでいる所は遠い場合がある。夜間対応の事業所があればこのような事例にも対応していくことができる。</p>
米内山委員	<p>資料1-2の日常生活圏域別人口等に、できたら高齢者世帯のみとか、一人暮らしのみ等のデータがあれば入れていただきたい。</p>
白井会長	<p>毎年、1月1日付けで、高齢者支援課の方で、高齢者実態調査を行っている。そこで高齢者世帯数、一人暮らし世帯数が分かるかと思うのでお願いをする。</p> <p style="text-align: right;">以上で本日の議題を終了とする。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

4年 8月 10日

議 長 の 署 名

白井 香

